2．減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く）

用途	室蘭臨海実験所宿舎	紋別流氷研究施設	登別教育研究センター	和歌山研究林
種類	土地	土地	土地	土地
場所	北海道室蘭市	北海道紋別市	北海道登別市	和歌山県東牟婁郡古座川町
帳簿価額	1,497千円	1,335千円	11,915千円	89,000千円
認められた減損の兆候の概要	業務実績の低下	業務実績の低下	業務実績の低下	市場価格の下落
減損を認識するには至らなかった根拠	注１―⑵	注１―⑵	注１―⑵	注１―⑶

用途	檜山研究林宿泊施設	畜産製造実験実習施設	事務局北棟（保健管理センター）	気象観測小屋（気象観測塔）
種類	建物	建物	建物	建物
場所	北海道檜山郡上ノ国町	北海道札幌市北区	北海道札幌市北区	北海道苫小牧市
帳簿価額	3,036千円	6,852千円	20,784千円	474千円
認められた減損の兆候の概要	業務実績の低下	業務運営環境の悪化	業務運営環境の悪化	業務実績の低下
減損を認識するには至らなかった根拠	注１―⑴	注１―⑴	注１―⑴	注１―⑴

用途	北大交流プラザ	電話加入権		
種類	美術品	電話加入権		
場所	北海道札幌市北区	北海道札幌市北区		
帳簿価額	10,541千円	5,980千円		
認められた減損の兆候の概要	業務運営環境の悪化	市場価格の下落		
減損を認識するには至らなかった根拠	注１―⑴	注１―⑵		

注１）減損を認識するには至らなかった根拠

⑴　施設の利用計画があり、今後の使用が想定されているため

⑵　回収可能サービス価額が帳簿価額を上回っているため

⑶　市場価格の回復について、調査の余地があるため

3．翌事業年度以降の特定の日以後使用しないと決定した固定資産

用途	図書館（積層書庫棟）			
種類	建物			
場所	北海道札幌市北区			
帳簿価額	36,337千円			
使用しなくなる日（平成23年３月末日における予定日）	平成23年12月			
使用しないという決定を行った経緯及び理由	注			
使用しなくなる日における帳簿価額	31,868千円			
回収可能サービス価額	備忘額			
減損額の見込額	31,868千円			

注）耐震補強が困難な建物であり、代替施設の確保ができ次第取り壊すこととなったため

Ⅷ．資産除去債務関係

1．資産除去債務の内容等

区分	法令によるもの	法令によるもの	契約によるもの
対象事項	アスベスト除去	放射線同位元素等除去	借用地に建築している建物の原状回復義務
関連法令等	石綿障害予防規則等	放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律等	土地賃貸借契約等
種類	建物	建物	建物
対象件数	５件	８件	１件
資産除去債務計上額	444,136千円	143,484千円	3,298千円
支出発生までの見込期間	注１	注１	注１
適用した割引率	注２	注２	注２

注１）支出発生までの見込期間が未定であるため、当該資産の減価償却終了時を支出発生時としております。これにより、見込期間は７年から48年を採用しております。

注２）資産除去債務の見積りにあたり、割引率は0.856％から2.301％を採用しております。

2．当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高(注)	579,314千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	0千円
時の経過による調整額	11,605千円
資産除去債務の履行による減少額	0千円
その他増減額（△は減少）	0千円
期末残高	590,920千円